

安曇野市自転車活用推進協議会 会議概要

1	審議会名 安曇野市自転車活用推進協議会 (第2回)
2	日 時 令和3年8月20日 午前10時00分から午後0時5分まで
3	会 場 会議室 306
4	出席者 益山代利子、太田和男、二木正之、細野脩一、北林大、小林可奈子、土屋征寛 (代理出席)、前田正一、松島義一、平林裕司、矢口大輔、横田耕太郎
5	市側出席者 高嶋政策部長、丸山政策経営課長、赤沼政策経営課長補佐、高橋主査、田 村洋之生活安全係係長、山田四七夫計画係係長
6	公開・非公開の別 公開
7	傍聴人0人 記者0人
協 議 事 項 等	
1	報告事項 市内の自転車事故の状況等について ア 自転車事故の状況 イ シェアサイクルの利用実績 ウ 道路整備計画 《質疑・意見》 (自転車事故について) ・人身事故を地図に落と込んだ情報が欲しい。事故が集中して起きやすい道路を知りたい。 ・事故の原因について、道路の構造的に問題があるのか、マナーの問題なのか。また、 シティサイクルやロードバイクなど事故になった自転車の種類などが分かれば知りたい。 →警察署と相談して、追加で情報提供を行う。 (シェアサイクルについて) ・シェアサイクルについて、利用者の属性（市民か市民以外の観光客か）の把握が必要なの ではないか。 →システム上、難しい部分がある。方法を検討する。 (道路整備計画について) ・安曇野市の課題は、南北に走る147号や山麓線の道路同士のアクセス、東西に大きな 道路がないことであると思う。そこが解消するなら望ましい。

2 計画素案について

(全般/自転車利用率について)

- ・安曇野市の自転車分担率をふまえれば、まず市民に乗って貰うことが必要である。例えば、「安曇野市民自転車の日」のようなものを設ける、簡易の自転車整備を無料とする(消耗品を除く。)といった施策などを考えてはどうか。
- ・自転車によるまちづくりを進めていくには、地元の受入環境が大切である。
- ・自転車で買物に行ける範囲に店舗がない。また店舗まで行っても十分な駐車スペースやサイクルスタンドがない。

(自転車ネットワーク計画について)

- ・走行空間整備につき、自転車ネットワーク計画を作成しないのか。
- 市内プロジェクトチームにおいて都市建設部局と協議したが、本市では自転車ネットワーク計画を策定する予定がないとのことである。
- ・自転車ネットワーク計画とそれに基づく走行空間の整備は、自転車活用推進計画の根幹であるという認識している。市民が安心して自転車利用するには、自転車ネットワーク計画が必要なのではないか。
- 意見をふまえ、再度、道路部門に確認する。

(目標1 観光振興について)

- ・目標1「自転車を活用した周遊・滞在型観光振興と地域の活性化」に「市民」の文言を入れたらどうか。あくまで市民のための計画である。
- 目標1の内容説明の項には「市民自らが自転車を楽しむことで…」と記載してあるが、標題についても「市民」に言及するよう、観光部局と調整する。
- ・安曇野サイクルブランドとは何か。分かりやすく、具体的なものを示した方がよい。
- 具体例を用いながら分かり易く伝わる記載を検討する。
- ・観光イベントに携わった経験からは、観光客向けのイベント・コンテンツは、地元の人に向けて実施しても人気がある。地元にも知らないことが多いからである。

(目標3 環境負荷の低減について)

- ・自転車通勤の企業を取材するのはよい。一步踏み込んで表彰するとか、補助金出す等してはどうか。
- 所管課と検討する。

(目標4 走行空間について)

- ・公共機関との乗り継ぎの連携とは。
- 確認する。

(サイクリングコースについて)

- ・Cコースについて、正真院のところを横断するのは信号がなく危険である。古厩の信号まで行った方がいいのではないか。

→確認する。

- ・やまびこ自転車道につき、南部公園付近はランナーが多い。自転車道であるにもかかわらず、一部は「歩行者優先」となっている部分がある。

→やまびこ自転車道につき、通行のルールがあるなら市としても積極的に周知したい。

やまびこ自転車道の交通ルールはあるのか。

➡確認する（建設事務所）。

(目標5交通安全について)

- ・交通安全について、例えば自動車運転免許の更新に際し、自転車の交通規則を教えたらどうか。

→公安委員会の事務である。所管部局に確認する。

- ・「危ないから気を付けろ」という啓発は、市民にはなかなか響かない。「楽しいから安全に走ろう」という発想が大事ではないか。高校生・親子・ファミリーに対して「楽しく乗れる」環境を作って欲しい。

→意見については関係部局と共有する。

(その他意見・個別の要望)

・やまびこ自転車道は、途中で道路のひび割れがあり、自転車に乗っていると痛い。補修して欲しい。水たまりがあるので、雨の日は重点的にパトロールしたらどうか。

→課題は把握している。計画的に補修する。

・市内の自転車の盗難はどうか。チェーンロック用の固定バーを付けるなどしたらどうか。

→これから整備する公共施設については提案していく。

・折角計画を作るのだから、効果的なPRが必要だろう。

(以 上)